

Saijodan

広島城北高等学校サッカー部OB会

広島市東区戸坂城山町 1-3 広島城北学園内 〒732-0015

TEL 082-229-0111 FAX 082-229-0112



47 回生 増田 淳一

はじめまして、47 回生の増田淳一です。

この度は、岩井先生に執筆の機会をいただいたので書かせていただきます。岩井先生、ありがとうございます。

まず、自分の近況について書かせていただきます。僕は今川崎医科大学医学部医学科に通っています。今は一年生でさほど勉強は大変ではありません。テスト前にみんなで焦って徹夜して何とか間に合わせるといった感じでした。サッカー部に所属して練習が週 5 回あり、高校の時と変わらずサッカーが生活の中心です。偶然にも、同期に後輩だった(笑)元輝、二年生に佐川さんといった、城北出身が三人います。また広島城北のメンバーでやれることをとても嬉しく思っています。医学部は夏に西医体といった大きな大会があり、どの大学もそこに照準を合わせて日々練習に励んでいます。中にはジュースや県選抜の出身者もいて、決してレベルは低くはありません。

さて、ここからは高校時代を振り返りたいと思います。僕は正直いって高校サッカーに後悔はありません。僕らの代は比較的戦力も揃っていて、宮本先生達からも期待されていました。しかし、いつもあと一步のところまで負けていて好成績を残せなかったように思います。あと一つで中国大会だったり、ベスト 4 だったり…。個人的にも宮本先生には一年生の時からチャンスを頂いていたのに期待にこたえられなかったように思います。

それでも、この三年間で本当に多くのことを学びました。この場を借りて現役サッカー部員に伝えたいと思います。僕は幸運にも試合に出る、出ない、両方の経験をさせていただきました。この二つの経験を通して一番大事だと思ったことはどういった立場であれチームの勝利を最優先にするということだと思います。試合に出る選手が全力でプレーすることはもちろんのこと、出ない選手がどれくらいチームに貢献するかがチームの勝利に大きく影響すると思います。ベンチの選手は試合に出る選手をサポートし、応援団のメンバーは全力で応援することです。そうすることで、出ている選手

は周りからの全力のサポートを感じ、一層身が入るはずです。試合に出る選手は選ばれた以上、出られない選手の事を思いプレーしてください。試合でのつらさより、試合に出られないつらさの方が大きいと思います。たとえ試合できつい時間帯があっても出ていない仲間のことを思うと力が入るはず。広島城北の代表として出ていることに誇りと感謝の気持ちを持ちプレーしてください。そして試合に出ない選手は自分と出ている選手とのプレーを比較してみてください。こいつはこういうプレーが上手いとか、自分のこういう面だったら負けないうとか…。そして日々の練習で一つずつ課題を克服していきましょう。常に考えながらサッカーしてください。何となく練習に取り組むのではなく、何かを目標にしてください。何でもいいです。例えば今日の練習では、シュートを 5 本決めるとか、こいつだけには 1 対 1 で負けないだとか…。とにかくたった三年間の高校サッカーを熱く楽しんでください。おそらくこんなに濃い三年間は二度とやっけないです。そしてこんなに恵まれた環境の中でサッカーでできることはこの三年間だけです。いざれきつとわかります。僕はこの三年間にかけてがえのないものを得ました。現役のみなさんも何か自分なにかで誇れることを見つけてください。そして悔いのない三年間にしてください。応援しています。僕も夢にむけて頑張ります。最後まで付き合ってくださいありがとうございました。

48 回生 藤井 達也

48 回生の藤井達也です。現在、広島修道大学人文学部人間関係学科教育学専攻の二年生で、小学校の教員を目指しています。また、今年の春からは、広島城北高校サッカー部の外部コーチとして、ライノスを中心に、練習の手伝いや試合に帯同させていただいています。

今回は、二つのことを書きたいと思います。一つ目は、最上段へ戻ってきて強く感じたことについてです。それは、「高校サッカーをもう一度したい。」ということ。練習や試合に行くと、

より高い意識でプレーできたのではないかと、日々の練習をもっと大切にできたのではないかと高校時代の自分を思い出します。また公式戦を見ていると、改めて高校サッカーが素晴らしい場所だと感じます。OB となって感じる今の思いは現役時代ではイメージできなかったし、今だから気づいたことかもしれません。この思いを少しづつでも選手に伝えていきたいです。

二つ目は、コーチとして大切にしていることについてです。それは「先生方とは違う存在になる。」ということです。選手とは年齢が近いため、先生からの厳しい指導や試合でミスをした時などに、選手へのフォローや選手目線でのアドバイスができるコーチでありたいです。そのためには日頃から選手とのコミュニケーションが大切だと思います。試合に出る選手と出られない選手、両方の気持ちを常に考えて声をかけ、チームのまとまりにつなげることを心掛けていきます。そして、どの選手にとっても「城北でサッカーをして良かった。」と思えるようサポートしていきたいと思っています。コーチとして半年が経ち、先生方から多くのことを学ばせていただいています。指導の難しさも実感しています。最後に自分の高校時代を振り返ると、ライノスで試合に出られない時期、やっとな試合に出られた時期、その後トップで全く通用しなかった時期、途中交代で少しずつ試合に出られた時期、最後の選手権でプレーできた時期といろいろありました。試合に出られない悔しさ、ピッチに立てる充実感、試合後の達成感を体験することができました。

三年間の高校サッカーを通じて、人として成長できたことが今となっては大きな財産です。城北高校サッカー部に、今も関わられていることがとても嬉しいです。この機会を与えてくださった先生方に感謝の気持ちでいっぱい。これからも、自分が経験して感じたことを後輩達に伝えていきたいです。そして、少しでも広島城北高校サッカー部の力になれるよう、一杯努力していこうと思います。これからもよろしくお願いたします。

2年生 田村 洸樹

OBの皆さま、こんにちは。現役チームの主将をさせていただいている二年生の田村洸樹です。最近のチームの様子を紹介させていただきます。

今年の広島城北サッカー部は、元気あふれるチームです。今年初の試みである委員会（風紀・栄養・用具・部室環境・グラウンド環境・そんなんで委員会）を部内に設置し、チームで「勝利」という大きな目標を掲げ、各委員会による活動の視点から部活を元気づけ、勝利につなげようと意識しています。

委員会は何のためにあるのか、活動することによって何のメリットがあるのかなど、その委員会活動における疑問点等を高校二年生中心に話し合い、チームをよりよくするために意見を出し合っています。

その意見を出し合う場は、毎週月曜日の昼休み、通称MLM（マンデイ・ランチ・ミーティング）です。委員会設置に続く初の試みではありますが、継続的に実施しています。このミーティングでは、各委員会の情報・改善点等を共有して話し合ったのちに、宮本先生に提案しています。先に述べた目標というのもこの場で話し合っ決定しました。最初は皆が常に笑顔でありたいという意見から「笑顔」という案も出ましたが、勝利の世界である限り勝たなければ笑顔になれないという仲間の案により、「勝利」が目標として決まりました。

今年の新チームの始動は4〜5月で例年より少し早く、三年生が引退したことで不安も募り、リーグ戦でも満足のいく試合が出来ない日々が続きました。夏合宿にOBの先輩方がたくさん来てくださり、選手権に向けていい雰囲気でも臨むことは出来たのですが、結果はふるわず、一回戦敗退という、広島城北の歴史の中で最悪な結果

となってしまいました。今はこの結果を真摯に受け止め、次の新人大会では結果を残そうと各個人が強い気持ちを持って日々の恋蹴に励んでいます。

先日、広島県高等学校サッカー新人大会の抽選会が行われ、対戦相手が決定したことで、部員の士気も上がっています。

OBの皆さまには結果しか伝えることが出来ないですが、先輩方を超えられるように頑張りたいと思います。これからも広島城北サッカー部への応援、よろしくお願ひします。

コーチ 米満 亮

OBのみなさま、こんにちは。

今年度より広島城北高校サッカー部の顧問となりました、米満 亮（よねみつりょう）と申します。OB会報誌の場をお借りしましてご挨拶させていただきます。

さて、私自身について少しだけ話をさせていただきます。私が広島城北高校にやってきて今年で三年目となります。これまではバスケトボール部顧問として職務を全うしてきましたが、今年度より縁あってサッカー部を受け持つこととなりました。前任校は広島なぎさ高校で、その際高校サッカー部の顧問をしておりました。前任校で広島城北と選手権予選で対戦したこともあり、その時の城北の印象は「とにかく元気のあるチーム」でした。試合前の声出し、ベンチに入れなかった選手たちの応援、そしてプレーをする選手達の活き活きとした表情など、とても印象に残っています。

そんな印象を持つ中、今年度よりサッカー部顧問に任命され、4月からライノス（セカンドチーム）を中心に指導をさせてもらっております。正直に申しますと、現チームは私が以前感じたほどの城北のエネルギーをまだ持ち合わせていません。気持ちの

2015 初蹴りのお知らせ

初冬の候、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
毎年恒例の“初蹴り”を開催いたします。
『最上段』で懐かしい仲間たちとともに、笑顔で1年をスタートしましょう！
また、元旦には広島城北サッカー部HPに、宮本監督の決意表明が掲載されます。
ご期待ください！

<http://saijodan.com/>

日時 2015年1月3日(土) 11:00 集合
場所 広島城北学園“最上段グラウンド”

広島城北高校サッカー部OB会
会長 吉川英司

お礼とお願い

平素から、現役チームの活動に多大なるご支援・ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
おかげさまで、現在チームは県リーグ（アドバンスリーグ）にトップ・ライノスの2チームが出場し、トップチームは2部、ライノスは4部リーグに所属し、公式戦に出場できる喜びを感じながら、練習に励んでいます。
チームの活動に伴い、必要な経費も増加しております。そこで今一度のOB会費徴収をお願いしたいと存じます。同封の振込用紙にて、一口5,000円よりお願いいたします。
何かと出費の多い時期とは存じますが、何卒ご協力くださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

広島城北サッカー部“BANTO” 岩井 竜彦（24回生）

現在、チームは新人戦に向けてトップ・ライノスともに一丸となって、戦いの準備を進めています。宮本誠監督の指導のもと、選手たちは自分で考え、行動し、結果を出すという日々成長しております。

OBのみなさまに良い報告ができるよう選手、スタッフともに全力を尽くして参りますので、どうか今後ともあたたかいご支援、ご声援のほど、よろしくお願ひいたします。

弱さが表れる場面が多々あります。しかしそういった面も含めてまだまだ伸びしろのある若いフレッシュなチームですから、彼らが今後どのように成長していくのが楽しみでもあります。
ライノスについては4月よりアドバンスリーグ4部で戦っておりますが、先日12月7日に、今季初勝利をおさめました。11戦目にしようやくの勝利でした。改めて試合に勝つことの難しさを感じております。

※ご家族のみなさんへ：ご本人が、ご入学・ご就職・ご結婚などで不在の場合は、お手数ですが、ご本人までご連絡ください。